

平成29年度 行政評価の取組結果（病院局）

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施				【Check】 評価 / 【Action】 改善																								
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）			H29年度		H28年度		H27年度		H29年度		H31年度予算要求に向けた施策の方向性														
					指標名等	現状値(基準値)	H28年度	H29年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数		事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題										
I-1- (1)-③ 母子が健康に生活できる環境づくり	1	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営	経営課	【総合周産期母子医療センター（市立医療センター内）】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供する。 【小児救急センター（市立八幡病院に併設）】 ・1次（初療）から3次（重篤）までの救急医療を24時間体制で提供する。	総合周産期母子医療センターにおける医療体制（24時間体制）の確保・充実	目標	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	医療体制の確保・充実	2,648,529	2,417,703	2,408,423	1,807,565	課長	1	順調	総合周産期母子医療センターでは、24時間体制での周産期医療の提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができた。 また、小児救急センターでは、24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、「順調」と判断。  【課題】 出生数の低下や働き方改革による医師の負担軽減の必要性などに留意する必要がある。	全国的な医師不足の状況であるが、必要な医師の確保や医療器械の更新などにより、医療体制（24時間体制）の確保に努める。 なお、出生数の低下や働き方改革による医師の負担軽減に留意する。										
						実績	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	医療体制の確保・充実					達成率	—						—	職員	1							
	2	総合周産期母子医療センターの運営・小児救急センターの運営	経営課	【総合周産期母子医療センター（市立医療センター内）】 ・出生前から出産後まで母子に対する専門的な医療を24時間体制で提供する。 【小児救急センター（市立八幡病院に併設）】 ・1次（初療）から3次（重篤）までの救急医療を24時間体制で提供する。	総合周産期母子医療センターにおける医療体制（24時間体制）の確保・充実	目標	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	医療体制の確保・充実	2,648,529	2,417,703	2,408,423	1,807,565	課長	1	順調	総合周産期母子医療センターでは、24時間体制での周産期医療の提供、ハイリスク分娩患者の優先的な受入を行うことができた。 また、小児救急センターでは、24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができたため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができています。 また、概ね工程通りに進んでおり、「順調」と判断。  【課題】 出生数の低下や働き方改革による医師の負担軽減の必要性などに留意する必要がある。	全国的な医師不足の状況であるが、必要な医師の確保や医療器械の更新などにより、医療体制（24時間体制）の確保に努める。 なお、出生数の低下や働き方改革による医師の負担軽減に留意する。										
						実績	運営体制の確保・充実	運営体制の確保・充実	医療体制の確保・充実					達成率	—						—	職員	1							
II-1- (2)-① 医療・救急体制の充実	3	八幡病院移転改築事業	経営課	昭和50年代に建設され、老朽化や狭隘化が進み、一部が新耐震基準を満たしていないなど、施設面に課題がある市立八幡病院の移転・建て替えを行う。	患者満足度の向上	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	90% (入院・外来) (H31年度)	6,106,724	3,168,097	679,779	28,450	課長	0.30	順調	成果指標である工事の進捗率は、支払額により算出しているため、当初予定していた目標よりも実績が小さくなったものの、実際の工事は概ね工程通りに進んでいるため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 必要な医師の確保や必要な医療器械の更新などを行ったことで、総合周産期母子医療センターにおいては24時間体制での周産期医療の提供、小児救急センターにおいては24時間体制での小児救急医療の提供を行うことができています。 また、概ね工程通りに進んでおり、「順調」と判断。  【課題】 出生数の低下や働き方改革による医師の負担軽減の必要性などに留意する必要がある。	全国的な医師不足の状況であるが、必要な医師の確保や医療器械の更新などにより、医療体制（24時間体制）の確保に努める。 なお、出生数の低下や働き方改革による医師の負担軽減に留意する。										
						実績	入院84% 外来88% (H28年度)	入院87% 外来86% (H31年度)						6%	6%						31%	6%	6%	31%	6%	6%	31%	6%	6%	31%
						達成率	—	—						100.0%	51.3%						100.0%	51.3%	100.0%	51.3%	100.0%	51.3%	100.0%	51.3%	100.0%	51.3%
					救命救急センター、小児救急センター受入れ患者数の増加	目標	単年度目標設定なし	単年度目標設定なし	7,652人 (H28年度)	7,652人	7,778人	受入れ患者数11,992人 (H42年度)	職員	2.00																
					達成率	—	—																							